

京都私立病院協会会長杯 創立 50 周年記念 第2回会員親睦ゴルフコンペを開催

平成 26 年 10 月 26 日（日）、瑞穂ゴルフ倶楽部において第 2 回目となる会員親睦ゴルフコンペを開催しました。

当日は、23 施設 43 名の会員施設職員にご参加いただき、実行委員長の富士原正人副会長からの開会挨拶、ルール説明の後、記念撮影を行い、OUT スタート 6 組、IN スタート 5 組の合計 11 組でダブルペリア方式によるプレーが行われ、全員無事ラウンドを終えました。

結果は、木村正彦氏（武田病院グループ本部）が OUT34、IN33 のトータル 67 という圧倒的な実力で前回に続いての優勝となりました。

ラウンド終了後は、表彰式会場に一堂に会して優勝から第 3 位までの表彰、ドラコン賞、ニアピン賞等の各賞の発表と賞品が贈呈され、その後は和やかな雰囲気の中で会員相互の懇親が深められました。

次年度の第 3 回の開催時も会員施設の職員皆様には奮ってご参加を賜りますようお願い申し上げます。



■京都私立病院協会会長杯 創立 50 周年記念 第2回会員親睦ゴルフコンペの結果

参加／23 施設 43 名（11 組）

* 以下、敬称略

優勝（他、バスグロ賞・ニアピン賞・ドラコン賞）／

木村正彦（武田病院グループ本部） NET 67.0（GROSS 67）

準優勝／加藤雅史（三菱京都病院） NET 71.2（GROSS 76）

第 3 位／奥田健治（亀岡シミズ病院） NET 71.4（GROSS 87）

女子の部優勝／足立明美（京都ルネス病院） NET 72.0（GROSS 84）

* 上記の他、ニアピン賞、ドラコン賞、第 4 位～10 位、15 位、20 位、25 位、30 位、35 位、40 位、当日（26 位）賞、BB 賞、大叩き賞の各賞が贈呈されました。

実行委員より

京都私立病院協会会長杯 創立 50 周年記念 第2回会員親睦ゴルフコンペを開催して

実行委員 山田 正明（堀川病院 事務長）

平成 26 年 10 月 26 日、京都私立病院協会会長杯創立 50 周年記念第 2 回会員親睦コンペが瑞穂ゴルフ倶楽部で開催されました。当初は 10 組 40 名の予定でしたが、記念大会という事もあり予想を超えるお申し込みをいただいたため、ひと組追加して 11 組 43 名の皆さんにご参加いただきました。

午前 8 時に実行委員長の富士原正人京都私立病院協会副会長の開会宣言により、戦いの火ぶたが切って落とされました。とはいえ、そこは親睦コンペです。日頃の真面目な表情とは違って、スタートホールから笑顔のあふれる和気あいあいとしたティーオフです。当日は倶楽部競技も入っており

非常に難しいピン位置でしたが、方々より「ナイスショット!」「ナイスバーディー」と歓声がわき上がり、好プレーの続出です。時々「チャポン」という音もありましたが、それもご愛敬です。雲ひとつ無い爽やかな秋空の下、気持ちよくプレーしていただき、さぞかし良いスコアが出たのではないのでしょうか?私の同組の方も、年内100切りを京都私立病院協会報で明言しておられたそうですが、見事にクリアされました!

さて、プレー終了後はお待ちかねの表彰式、懇親会です。ニアピン賞、ドラコン賞、BB賞、BG賞、多叩き賞(一番多く打った人)、飛賞などが発表され、いよいよ上位の発表です。3位以上の方には富士原副会長から表彰状が贈呈されます。そして、優勝者には京都私立病院協会会長杯(今回から新設されたピカピカのカップです!)も贈呈されました。喜びの優勝スピーチのあと、富田哲也京都私立病院協会副会長による閉会のご挨拶で表彰式、懇親会は幕を閉じました。

最後になりますが、本記念大会を滞りなく終える事ができましたのも、ご協力下さいました実行委員の皆さま、事務局の皆さま、瑞穂ゴルフ倶楽部の皆さまのお陰と感謝いたしております。また京都府病院協同組合様をはじめ、協賛いただいた皆さまへも紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

そして、何よりご参加いただきました皆さまには大会を大いに盛り上げていただき、本当にありがとうございました。運営上の不手際も多々あったかと存じますが、好天と無事終える事ができたことに免じてご容赦いただきますようお願い申し上げます。

来年の第3回大会にも多数の皆さまにご参加いただきますよう、よろしく願いいたします。

優勝者より

ゴルフと私

木村 正彦(武田病院グループ本部 管理部門 庶務担当次長)



京都私立病院協会において、昨年より正式な親睦イベントとなった「親睦ゴルフ」が、本年は、「会長杯創立50周年記念 会員親睦ゴルフコンペ」となり、続けて参加できたことは、大変名誉なことであり、さらに優勝という思わぬ好結果となりました。幸運であったと振り返っております。また、同コンペを通じて、普段お会いできない会員病院の先生方、職員の皆様方との親睦を深めることもでき、誠に有意義な時間を過ごさせていただきました。

隅々までご配慮・ご準備、お世話いただきましたゴルフコンペ実行委員ならびに事務局の皆様方、また当日ご一緒させていただきました皆様へ、厚く御礼申し上げます。

ゴルフと私の関りを、少しお話しします。武田病院グループとの縁も、学生時代のゴルフの恩師との繋がりが縁でした。今の私があるのも、ゴルフをしていたからかもしれませんね。

初めてゴルフを知ったのは、TV中継でした。1977年THE OPENでのJ.NicklausとT.Watsonとのターンバリーでの「真昼の決闘」(後にこう呼ばれるようになりました)を、LIVEで目の当たりにしました。その展開があまりにドラマティックであって、今も昨日のように、印象に残り、心を掴んだままです。この一時代を画した出来事(私自身は、T.WoodsやR.McIlroyが登場した今に至っても、最高の試合と位置づけています)に、12歳という少年が、全く偶然に出会えたことに、いま

でも驚きと感謝を覚えます。

ゴルフに本格的に取り組んだのは大学時代でした。勉強もそこそこに、朝夕ゴルフに打ち込み、今振り返れば、かけがえの無い時間でした。大学創部以来初の日本学生選手権決勝進出と関西学生連盟主催の個人戦では、三位入賞もでき、当時の私の実力からは、出来すぎた結果を得たのも、恩師のお蔭であり、全くの幸運でした。

武田病院グループにお世話になりましたからは、さすがに学生のころのようにとは参りませんが、グループ内外のゴルフコンペの幹事や職員親睦ゴルフレッスン会なども、やりたいようにさせてもらっております。

大学との縁は、今もゴルフ部監督として繋がっており、殆どが大学で初めてクラブを握る諸君と、私自身も新鮮な気持ちで、ゴルフと向き合っております。私に関わる事が、未来のゴルフに寄与できればと願かけながらのボランティアです。

このような恵まれ充実したプライベートな時間を持つのも、何にでも自由闊達に取り組ませていただける武田病院グループの風土があつてのこと。今回の優勝で感謝の念を新たにした次第です。

今後も、気力・体力の続く限り白球を追い、来年もよい成績を残せればと思っております。

このコンペを通じて、会員の繋がりがより強固になり、協会が益々発展することを願って止みません。

皆様、ありがとうございました。